

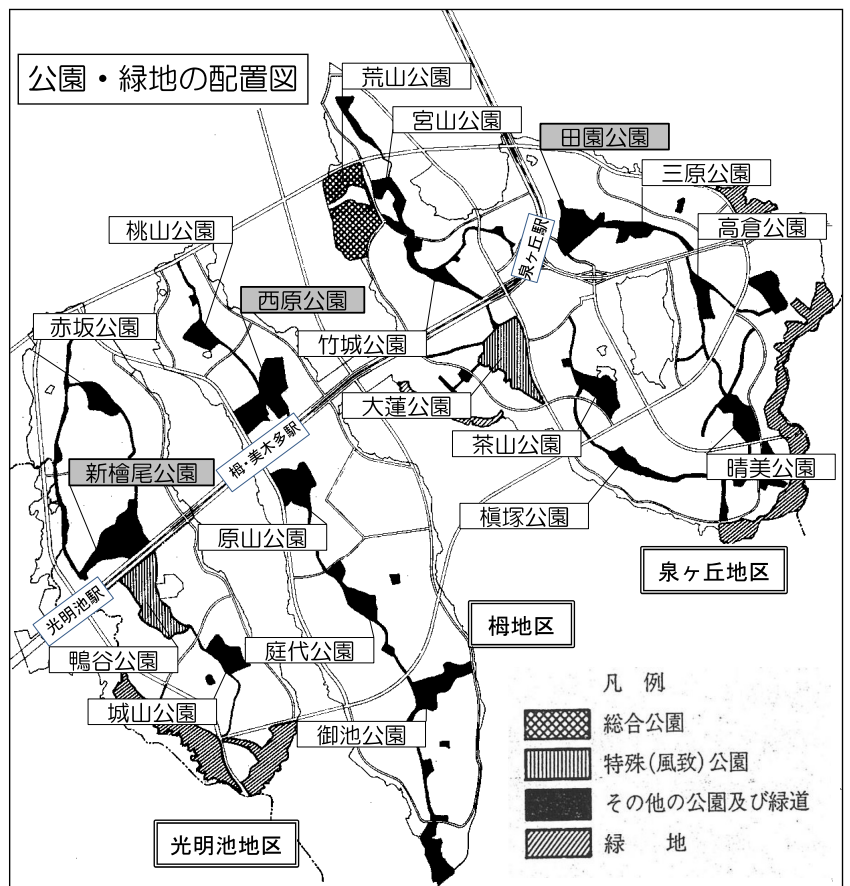
泉ヶ丘地区における都市計画公園の 変更素案について

平成31年3月17日 堺市

泉北ニュータウンにおける公園・緑地の配置の考え方

- 住区構成に対応して、街区公園、近隣公園、地区公園を配置
- 地区公園については、泉ヶ丘地区、梅地区、光明池地区にそれぞれ1箇所ずつ、駅周辺に配置した
- それらを緑道によって結び、より上位の空間である特殊（風致）公園、総合公園、さらに都市緑地へと繋がる

ニュータウン全体で
緑のネットワークを形成



近畿大学医学部等開設予定地の一部となる、田園公園及び三原公園の公園区域を縮小

田園公園は、

- ・プール機能を原山公園へと移転
- ・遊戯施設を設置するなど、主な施設を変更



「泉北ニュータウンにおける公園・緑地の配置の考え方」に基づき、泉ヶ丘駅前のビッグバン周辺地に新たに地区公園を配置

茶山台方面からの緑のネットワークを強化

減少する公園面積や緑地機能を確保

賑わい・レクリエーション機能の追加



公園名	種別		面積			主な施設	
	変更前	変更後	変更前	変更後	増減	変更前	変更後
田園公園	地区公園	近隣公園	約8.0ha*	約3.3ha	約4.7ha (減)	運動施設(7°-ll) 修景施設(緑地) 広場・園路(緑道) 休養施設	— 修景施設(緑地) 広場・園路(緑道) 休養施設 遊戯施設
三原公園	近隣公園	近隣公園	約2.6ha	約2.2ha	約0.4ha (減)	修景施設(緑地) 広場・園路(緑道) 休養施設 遊戯施設	修景施設(緑地) 広場・園路(緑道) 休養施設 遊戯施設
(仮称)泉ヶ丘公園	—	地区公園	—	約5.5ha	約5.5ha (増)	—	修景施設(緑地・池) 広場・園路 休養施設 遊戯施設 管理施設 便益施設
面積合計			約10.6ha	約11.0ha	約0.4ha (増)		

※田園公園の開設面積については、田園公園駐車場面積 約0.4haを含み、約8.4haとなっているが、都市計画決定面積としては、約8.0haである。

2019年

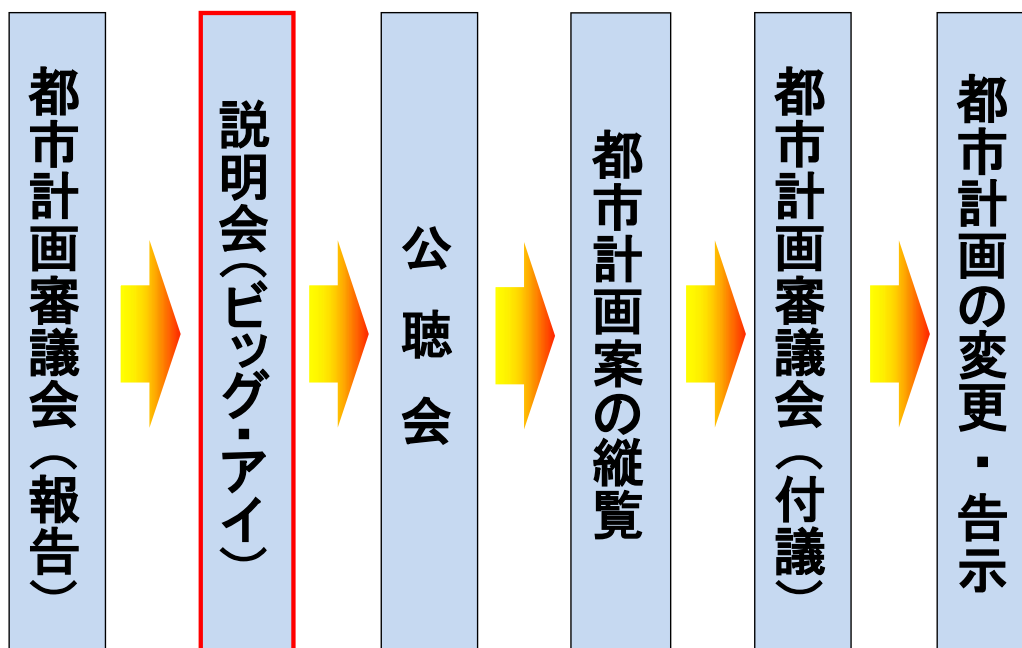
1月31日

3月17日

4月17日

6月頃

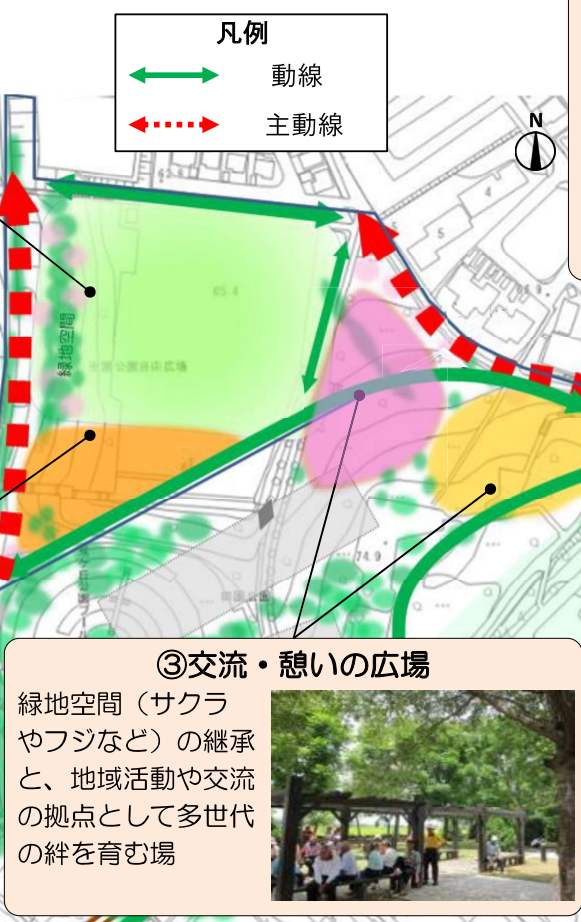
7月頃



①スポーツ広場
 様々なスポーツを通じて
 集い・学び・交流する機
 会を創出する場



②多目的広場
 地域の交流や様々な活動
 と健康づくりができる場


⑤三原きりん公園
 子どもたちが楽しく遊べる場




④主園路（緑道）
 良好な見通しと適度な
 明るさを確保し、誰もが
 安心して利用できる緑道



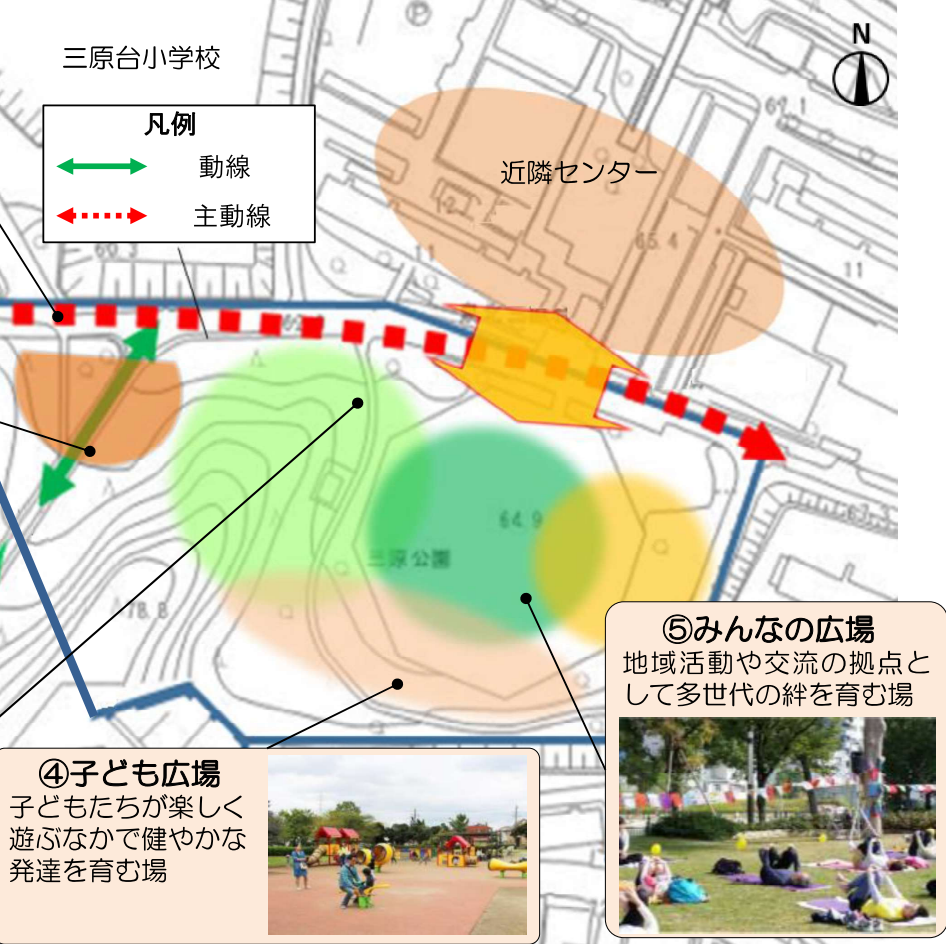
③交流・憩いの広場
 緑地空間（サクラ
 やフジなど）の継承
 と、地域活動や交流
 の拠点として多世代
 の絆を育む場



①主園路（緑道）
 良好な見通しと適度な
 明るさを確保し、誰もが
 安心して利用できる緑道



③健康運動広場
 健康づくりを楽しみ、
 交流することができる場

④子ども広場
 子どもたちが楽しく
 遊ぶなかで健やかな
 発達を育む場



⑤みんなの広場
 地域活動や交流の拠点と
 して多世代の絆を育む場



- ・良好な見通しと適度な明るさを確保し、誰もが安心して利用できる道

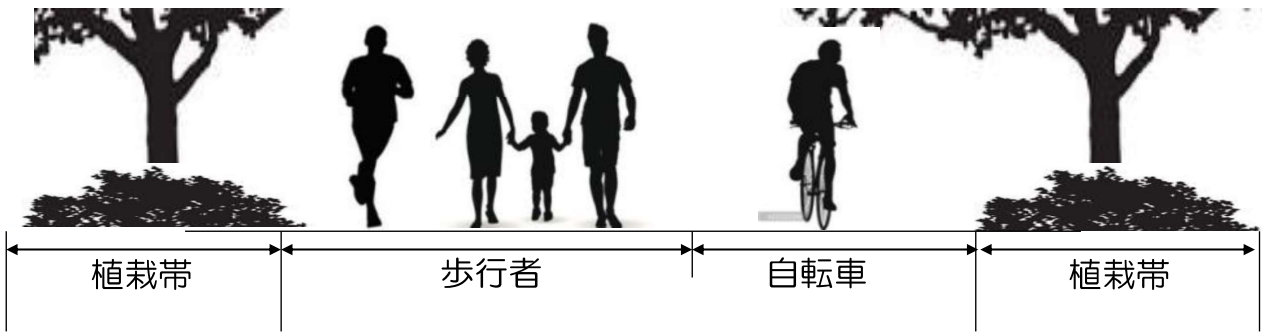
＜整備の方向性＞

- ・既設照明の照度をアップ（LED化など）
- ・樹木の適正な剪定や間引きなどにより見通しを確保
- ・ベンチなどを設置し休憩できる空間を確保
- ・四季の景色が楽しめ、安らぎを感じることで空間の確保
- ・ウォーキングやランニングを楽しむことで健康づくりができる空間の確保
- ・災害時の避難、救援ルートとしても活用できる空間を整備



イメージ

主要な園路（緑道）の構成イメージ



(仮称)泉ヶ丘公園の整備イメージ

①主園路（緑道）

良好な見通しと適度な明るさを確保し、誰もが安心して利用できる緑道



※イメージ

②賑わい広場

幹線道路にも面した立地を活かし、大蓮公園と連携した賑わいの創出により、子育て世代も楽しく交流できる場



※イメージ

③森の遊び場

樹林地や周辺施設と一体となった多様なアクティビティを通じ、子どもが創造的に学び、親子で楽しめる遊び場



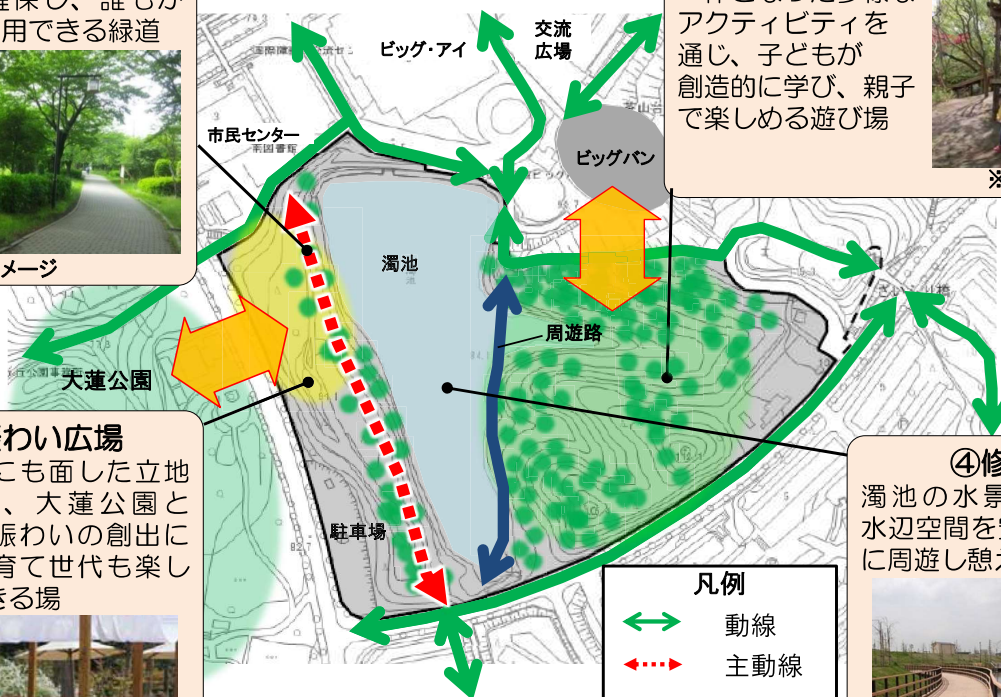
※イメージ

④修景池

濁池の水景を活かし、水辺空間を安全かつ快適に周遊し憩える場



※イメージ



凡例

- ←→ 動線
- ←- - - 主動線